

令和3年度 生涯学習課 美術館係 事業計画表(概要)

【美術館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	令和 3 年 度 事 業 計 画						
					実施目標	実施時期／回数	事業内容	前年度からの課題	課題解決に向けての対策(どのような方法で)	主な事業予算	関連事業(関係機関)
1	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	① 文化芸術活動推進事業	文化芸術活動推進事業	○市文化協会などの関係団体と連携し、市民の主体的、自主的な展示活動やアトリエでの創作活動を支援する。 ○学校などと連携して、児童生徒等の芸術作品鑑賞や創作活動の支援や出前授業を行い子どもたちの豊かな感性を育む。 ○地域などで子どもの創作活動を支援し、子どもたちの豊かな感性を育む。	4月～3月	○美術館を活用する関係団体の学習・展示活動の支援。 ○小学校などと連携した作品鑑賞学習などの支援。 ○織田廣喜自身や作品、収蔵作品を紹介し活用した学校への出前学習の実施。 ○希望により職場体験学習や博物館実習の受入れ。 ○地域の子どもたちや高齢者などの創作体験支援やイベントなどでの体験コーナ設置。	令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防対策として、関係団体や学校などの美術館利用は見送られた。例年の課題としては、 ○地域での子どもたちの創作活動や館内外での学習内容を充実させる。 ○美術館を活用する学校が固定化し、広がらない。 ○今後も入館者及びアトリエ、展示室5利用者へ有機物の持ち込み禁止について理解と周知に努める必要がある。	○関係団体の活動を支援する ○短時間体験創作プログラムを作成し、地域活動指導員と連携協力して地域に呼びかけ、子どもたちの創作体験を支援する。なお、実施に当たっては、時期、内容、地域支援者などについて依頼者と検討協議し行う。 ○美術館での学習内容、出前学習内容のプログラムを作成し、学校などに美術館活用を促す。 ○事前にアトリエや、展示室5の利用者代表などに有機物の件を伝え調整してもらう。	委員報酬: 138千円 職員報酬: 6,544千円 職員手当: 583千円 委員費用弁償: 60千円 職員費用弁償: 203千円 普通旅費: 7千円 消耗品費: 651千円 燃料費: 2,782千円 印刷製本費: 297千円 光熱水費: 13,214千円 修繕料: 7,393千円 通信運搬費: 337千円 手数料: 172千円 委託料: 7,046千円 使用料賃借料: 788千円 備品購入: 11千円 負担金: 15千円	【関連機関など】 ○市文化協会 ○市内学校など ○各地区公民館など ○生涯学習課 【関連事業など】 ○嘉麻市文化祭inうすい ○琴平美術展覧会 ○職場体験学習・博物館実習 ○県小学生児童画展嘉麻市展 ○筑豊地区中学校総合文化祭 ○ときめき学習 ○ゆめまつり・子どもフェスタ ○MOA美術館嘉飯桂児童作品展
2	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	② 美術館運営管理事業	美術館運営管理事務	○快適な環境の中で安心して、芸術作品鑑賞や創作、展示などの文化芸術活動が行え、また、憩いの場となるように施設の維持管理と運営を行う。 ○広く美術館や事業などの周知に務める	4月～3月	○美術館の維持管理に必要な業務の継続委託。 ○美術館の運営と修繕などの維持管理事務。 ○新型コロナウイルス感染症拡大予防の取組。 ○指定管理者導入に向けての作業。 ○市広報、ホームページ、SNS、展覧会案内リーフレットや市関係課などと連携した幅広い情報発信、周知活動。 ○筑豊美術館ネットワークでの情報交換や連携。	○美術館の快適な環境を保持する。 ○媒体であるフロンガス製造中止による供給不可と耐用年数を超過している空調設備(加湿器など)及び電気設備の改修が必要。 ○安定した施設運営の検討、実施。 ○美術館の幅広い周知と情報発信。 ○当館の来館者は高齢者が多く、SNSになじみの無い世代が中心である。そのような方々に対して効果的な情報発信を行い、更なる来館者の増加、周知を図る必要がある。	○維持管理に必要な業務の継続委託や耐用年数の超過している空調設備の計画的な修理や設備更新の検討など。 ○指定管理者の導入についての検討、実施への手続き。 ○展覧会リーフレットの作成と活用、ホームページ、SNSの活用と更新による情報発信や関係課などとの連携。 ○筑豊美術館ネットワーク加盟館との情報交換、事業等の周知と発信。	委員報酬: 138千円 職員報酬: 6,544千円 職員手当: 583千円 委員費用弁償: 60千円 職員費用弁償: 203千円 普通旅費: 7千円 消耗品費: 651千円 燃料費: 2,782千円 印刷製本費: 297千円 光熱水費: 13,214千円 修繕料: 7,393千円 通信運搬費: 337千円 手数料: 172千円 委託料: 7,046千円 使用料賃借料: 788千円 備品購入: 11千円 負担金: 15千円	【関連機関など】 ○関係美術館 県立美術館 田川市美術館 直方谷尾美術館 ○県博物館協議会 ○筑豊美術館ネットワーク ○市産業振興課 ○市観光まちづくり協議会
3	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	② 美術館運営管理事業	碓井琴平公園管理事業	○隣接する芝生広場が人々の憩いの場として快適かつ安心して活用できるよう環境美化と維持管理を行う。	4月～3月	○美術館など施設敷地内及び隣接する公園内の清掃、草刈、オカメ笹剪定や芝生、樹木などの維持管理。 ○危険木などの伐採、片付けなどを行い、安全に配慮し、環境整備を図る。 ○公園内トイレの清掃と維持管理。 ○公園の周知と活用を図る。	○公園の維持管理に努める必要がある。 ○公園を巡回し、状況確認や芝生内の石やゴミなどを取り除く必要がある。 ○公園利用のマナー及び案内と利用をPRする必要がある。	○敷地内の清掃や樹木などの剪定、芝生の管理など適切な維持管理を継続して行う。 ○ホームページやSNSを活用し、季節の写真などを掲載し公園の周知に努め、利用を図る。 ○ゴミの持ち帰りなど公園利用のマナーについて、ホームページで注意喚起を行う。 ○公園の巡回、ゴミ回収などを行う。	光熱水費: 30千円 修繕料: 50千円 委託料: 6,374千円	【関連機関など】 ○市関係課など 市環境課 市都市計画・公園係 市産業振興課 市観光まちづくり協議会
4	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	② 美術館運営管理事業	収蔵作品等の保存及び管理	○関係資料の収集及び収蔵作品などの適切な保存管理と幅広い活用を図る。	4月～3月	○収蔵作品の修復や写真撮影委託。 ○収蔵作品の過去撮影分ポジフィルムのスキャンニング。 ○空調設備の管理委託業者との連携による空調設備維持管理。 ○温湿度記録機器(毛髪式自記温湿度計)の定期校正の実施。 ○収蔵庫の定期清掃及び燻蒸。 ○データロガーによる温湿度計測データ蓄積。 ○虫菌害の防止体制強化。 ○データ管理システム「IBミュージアムSaaS」を活用し、作品情報の一括管理及びインターネットでの公開。 ○常設展示作品の入替と春のコレクション展の開催。	○収蔵作品のデータ整理を進める必要がある。 ○毛髪式自記温湿度計の計測値にばらつきがあり、定期的な校正が必要である。 ○データロガーによる温湿度管理を強化する必要がある。 ○春先や梅雨時期など湿度が不安定になる時期に、恒常的な温湿度管理のため、空調機管理委託業者と連携を密にする必要がある。 ○作品の良好な状態保持と活用を図るため、定期的なコンディション確認や修復作業の実施、継続的な収蔵庫の燻蒸が必要である。 ○重要区間である展示室及び収蔵庫の環境設備に努める必要がある。	○毛髪式自記温湿度計・データロガーを適切に運用し、館内湿度の計測を行う。変動が見られる場合は迅速且つ的確な対応を取る。 ○空調設備の管理委託業者との連携を密にし、問題が発生した際は迅速な対応を図る。また、既存の設備による対応が困難な場合、代替案(除湿機使用など)による環境保全を図る。 ○作品の状況確認を行い、デジタル撮影、修復を行うとともに、継続して収蔵庫の燻蒸を行う。 ○日常業務の中で館内外環境確認を行い、問題の予防及び早期発見に努める。	消耗品費: 13千円 委託料: 1,479千円 使用料賃借料: 396千円 備品購入費: 29千円	【関連機関など】 ○三菱電機ビルテクノサービス株式会社 ○長野聡史写真事務所 ○工房アルテ ○富士フィルムイメージングシステムズ株式会社

令和3年度 生涯学習課 美術館係 事業計画表(概要)

【美術館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	令和3年度事業計画						
					実施目標	実施時期/回数	事業内容	前年度からの課題	課題解決に向けての対策(どのような方法で)	主な事業予算	関連事業(関係機関)
5	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	③ 企画展事業	春のコレクション展2021	○幅広く優れた芸術作品鑑賞を行う機会を提供することにより、芸術への興味と関心を深め、心豊かな感性を磨く機会を提供する。 ○織田廣喜を中心に地域縁の作家などの作品を収蔵している。この収蔵作品を常設展示とは別にコレクション展として展示公開し、当館の誇る名品の魅力を紹介し、郷土の作家への興味と関心を深める機会を提供する。	4月1日 ～ 6月13日 /54日間	○常設展とは別に収蔵作品を活用した展覧会を開催する。 ○開館25周年の節目にあたり、「織田廣喜と織田廣喜美術館の人生」をテーマに「LIFE～開館25周年記念展～」を開催し、織田廣喜美術館と織田廣喜の関わりについて今一度掘り下げる。 ○織田廣喜作品44点、織田の長男・廣比古と次男・きじ男の作品を各1点ずつ出品するほか、当館に関連する織田の展覧会を記録した資料を複数展示する。 【関連事業】 ○織田廣喜美術館リアルすごろくで遊んでみよう 随時 ○自分で作れるお祝いグッズコーナー 随時	○コレクション展の来館者が少ない。 ○作品及び作家の調査を日常的に行い、コレクション展に反映させていく必要がある。 ○常設展示において作品の展示替えが不定期で、作品の劣化と、展示構成のマンネリ化も懸念される。	○観光PR係など関係機関とも連携し周知を図る。 ○SNSでの告知も強化し繰り返し内容を発信し、若年層の来館を促す。 ○収蔵作品のデータ整理と確認作業に努め、コレクション展の実施計画を立て、流れを作る。 ○収蔵品を活用し常設展の入替も行い、広く発信し、集客を図る。 ○図書館や公民館など関連施設と連携を強化し、周知と関連イベントなどの充実を図る。		【関連機関など】 ○市産業振興課 ○市観光まちづくり協議会 ○筑豊美術館ネットワーク ○市図書館など ○市内学校など 【関連事業】 ○ワークショップ ○出前学習
6	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	③ 企画展事業	中原淳一展 美しく装うことの大切さ	○幅広く優れた芸術作品鑑賞を行う機会を提供することにより、芸術への興味と関心を深め、心豊かな感性を磨く機会を提供する。 ○特別企画展を観光資源として、集客を図る。 ○現代においても古びた印象を与えない中原の数々の仕事が、彼のゆるぎない一貫した平和を愛する心を基に創り上げられたものであったことを紹介する。 ○前年度の「花村えいこと漫画」に続き、日本の少女像のイラストの源流とも言える中原淳一の描いた少女群とともに、織田廣喜の少女たちの魅力も紹介していく。	9月18日 ～ 10月17日 /26日間	○中原淳一(1913～1986)は、女性が本来持つ「美しく装うこと」によって「自分を表現する」意識に戦前、戦中、戦後を通して多大な影響を及ぼし、それを育てた。ファッションのみならずその仕事は戦後の女性の生き方に大きな影響を及ぼし、今も脈々と受け継がれている。その中原淳一の多彩な仕事を「戦前の仕事」「戦中の仕事」「戦後の仕事」そして「時代を超える中原の仕事」と4つの章立てで、大正、昭和、平成、そして令和へとつながる時代背景と女性の「美意識」と社会参加の歴史を辿りながら追うことで、女性の地域向上確立に至るその偉大な功績を紹介する。	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、令和3年度に延期し実施する。前々の課題として ○常設展示室との回遊が低迷。「花村えい子」の事務所と協力して事前周知を行ったが来館者が伸びなかった。 ○会期中の週末に大雨と台風接近に伴い3回臨時休館することになった。	○今回も織田廣喜の作品で特に知られ人気のある「少女シリーズ」と関連付けた内容の展示とし、企画展示室から常設展示室への導線計画を再考、工夫し集客を図る。 ○市産業振興課や観光まちづくり協議会と連携協力し、事前の周知への取り組みを強化するとともに会期中も発信し続けるなど集客を図る。 ○関連事業を企画検討する。 ○近年の気象状況を鑑み、大雨や台風の影響の少ない時期に会期を設定する。	職員報酬: 241千円 職員費用弁償: 17千円 消耗品費: 60千円 印刷製本費: 160千円 通信運搬費: 75千円 委託料: 4,788千円 使用料賃借料: 102千円	【関係機関など】 ○生涯学習課図書館係 ○市産業振興課 ○市観光まちづくり協議会 ○男女共同参画課 【関連事業など】 ○市内4図書館において中原淳一特設コーナーの開設 ○講演会(主催図書館係) ○関連グッズ販売コーナー開設
7	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	③ 企画展事業	第76回県美術展覧会筑豊巡回展	○幅広く優れたに美術作品鑑賞の機会を提供することにより、芸術への興味と関心を深め、心豊かな感性を磨く機会を提供する。 ○関連事業を実施し集客を図る。	【第1期】 10月20日 ～ 10月24日 【第2期】 10月27日 ～ 10月31日 【第3期】 11月3日 ～ 11月7日 /15日間	○福岡県美術展覧会の日本画、洋画、デザイン、写真、書の5部門の中から、公募の部の入賞、入選作品及び筑豊地区の県美術協会会員の作品を3期に分けて展示する。 ○事前に筑豊巡回展実行委員会(各部門より)を開催し、会場の打合せを行う。作品展示は実行委員の指導のもとに業者が行う。 ○各会期の最終日に県美術協会会員による合評会を行う。 ○事後に筑豊巡回展実行委員会を開催し総括を行う。	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止。前々年度の課題として ○一般以外の来館者が少ない。 ○出品者全体が高齢化しており、高齢者、若年層それぞれに向け、出品呼びかけも必要である。 ○洋画部門で展示後作品への傷が発見された。気を付けていても事故は起こるが、注意して作品を取り扱う必要がある。 ○額の中でずれてる作品が幾点か見られた。受付の時点で作品の固定方法などについての周知が必要である。 ○画材の処理によるものと思われる剥落が見られた。	○出品募集の段階から美術館にて告知の充実や、嘉麻市文化協会などへ募集を案内するなど、筑豊地区からの出品者や入選者入賞者数の向上を目指す。 ○県展実行委員会において改めて額装などについて出品者に指示、確認が必要。本展も含め改めて作品搬入から搬出までの作業において、作品の状態確認などを改めて注意しながら行い、事故防止に努める。 ○より多くの子どもの作品鑑賞の機会とするため、会期を遠足の時期に変更するなど工夫する。	職員報酬: 69千円 講師謝礼: 57千円 謝礼: 57千円 報償金: 10千円 職員費用弁償: 9千円 普通旅費: 2千円 消耗品費: 55千円 印刷製本費: 159千円 通信運搬費: 74千円 委託料: 639千円	【関連機関など】 ○県美術展覧会実行委員会 ○県美術展覧会筑豊巡回展実行委員会 【関連事業など】 ○合評会 第1期:10月24日(日) 第2期:10月31日(日) 第3期:11月3日(日)

令和3年度 生涯学習課 美術館係 事業計画表(概要)

【美術館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	令和 3 年 度 事 業 計 画						
					実施目標	実施時期／回数	事業内容	前年度からの課題	課題解決に向けての対策(どのような方法で)	主な事業予算	関連事業(関係機関)
8	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	③ 企画展事業	春のコレクション展2022	○幅広く優れた芸術作品鑑賞を行う機会を提供することにより、芸術への興味と関心を深め、心豊かな感性を磨く機会を提供する。 ○織田廣喜を中心に地域縁の作家などの作品を収蔵している。この収蔵作品を常設展示とは別にコレクション展として展示公開し、当館の誇る名品の魅力を紹介し、郷土の作家への興味と関心を深める機会を提供する。	3月12日 ～ 4月10日 /22日間	○収蔵作品を活用した展覧会を開催する。 ○コレクション展とは別に、常設展の展示作品の入れ替えを行い、作品の保護と展示内容のマンネリ化に努める。 ○ホームページやSNSを活用し、幅広くPRし周知に努める。	○コレクション展の来館者が少ない。 ○作品及び作家の調査を日常的に行い、コレクション展に反映させていく必要がある。 ○常設展示作品の展示替えが不定期で、作品の劣化と、展示構成のマンネリ化も懸念される。	○観光PR係など関係機関とも連携し周知を図る。 ○今後はSNSでの告知も強化し繰り返し内容を変え発信し、若年層の来館を促す。 ○収蔵作品のデータ整理と確認作業に努め、コレクション展の実施計画を立て、流れを作る。 ○収蔵品を活用し、常設展の入れ替えを行い広く発信し、集客を図る。 ○図書館や公民館など関連施設と連携を強化し、周知と関連イベントなどの充実を図る。		【関連機関など】 ○市産業振興課 ○市観光まちづくり協議会 ○筑豊美術館ネットワーク ○市図書館など ○市内学校など 【関連事業】 ○ワークショップ ○出前学習
9	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	⑤ 美術教育普及事業	美術館ボランティア事業	○円滑な講座運営を支援するなど、活動をおおして喜びを感じ、充実した時間を過ごすことができるよう、美術館とボランティア相互の連携を図る。	4月～3月	・アートキッズ(講座)のサポート。 ・サポートに向けての会議。 ・研修会	○今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で新しいボランティアの募集をすることが出来なかった。来年度は大学のボランティアセンターなどと連携を図りながらボランティア活動の充実を目指す。	・新たなボランティアの募集。 ・高校生及び大学生ボランティアへの呼びかけ。		【関連機関など】 ○大隈城山高校など 【関連事業】 ○アートキッズ ○文化芸術活動推進事業
10	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	⑤ 美術教育普及事業	アートキッズ(仮称)	○様々な創作体験や芸術に関する知識を習得できる講座を実施し、創作活動の楽しさを実感でき、学びを深める機会を提供する。 ○作品鑑賞や創作活動を通じて、子どもたちの豊かな感性と創造力などを培う機会を提供する。	7/18・25 9/12、 11/20・21 3/6・13 全7日(予定)	○前年度の講座テーマ「つながる」からの趣向を引き継ぎ「ひろげる」をテーマに行う。 ○前年度より人数、回数を増やし作品、知識、経験などを「ひろげる」機会をつくる。 ○講座は市外講師2日、近畿大学連携2日、館内スタッフ3日を予定。 ○対象者は小学生で募集定員15名 日曜日開催(※近大事業は土日の連日) ○学びの成果である作品は、文化祭や琴平美術展覧会などで展示する。	○新型コロナウイルス感染症予防対策や大雨、台風により休講となる恐れがある。 ○前年度は定員20名に対し、受講者が17名と、定員を下回ってしまった。市内小学校の他にも市内施設に対しても積極的に広報活動を行い更なる周知を図る必要がある。	○近年の気象状況を鑑み、大雨や台風が比較的少ない春、秋から冬にかけて計画する。 ○市内各小学校の他、市内各施設にも積極的に広報を行い、HPやSNSも活用し広く周知に努める。	謝 礼: 19千円 旅 費: 1千円 消耗品費: 15千円	【関連機関】 ○近畿大学産業理工学部 【関連事業】 ○美術館ボランティア事業 ○文化祭inうすい ○琴平美術展覧会
11	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	⑤ 美術教育普及事業	夏休み絵画工作教室(仮称)	○様々な創作体験や芸術に関する知識を習得できる講座を実施し、創作活動の楽しさを実感でき、学びを深める機会を提供する。 ○作品鑑賞や創作活動を通じて、子どもたちの豊かな感性と創造力などを培う機会を提供する。	8/21・22 (予定)	○美術館に各自、夏休みの図画工作の宿題をもちより、市内の様々な児童と交流しながら館内スタッフの助言を受け作品制作を通じて、創作することの楽しさを体感する。 ○対象者は小学生15名程度				

令和3年度 生涯学習課 美術館係 事業計画表(概要)

【美術館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	令和 3 年 度 事 業 計 画						
					実施目標	実施時期／回数	事業内容	前年度からの課題	課題解決に向けての対策(どのような方法で)	主な事業予算	関連事業(関係機関)
12	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	⑤ 美術教育普及事業	近畿大学連携事業	○様々な創作体験や芸術に関する知識を習得できる講座を実施し、創作活動の楽しさを実感でき、学びを深める機会を提供する。 ○作品鑑賞や創作活動を通じて、子どもたちの豊かな感性と創造力などを培う機会を提供する。	11/20・21 (予定)	○近畿大学の建築・デザイン学科と連携し「人にも植物にも動物にも優しい巣箱」をテーマに巣箱を作り、設置する。この事業はアートキッズのプログラムの一つに組み込み行う。 ○対象は小学生で募集定員は25名 土日連続で開催。 ○会場は新型コロナウイルス感染症予防の観点から美術館横の公園にて行う。	○新型コロナウイルス感染症防止対策や大雨、台風により休講となる恐れがある。	○近年の気象状況を鑑み、大雨や台風が比較的少ない春、秋から冬にかけて計画する。	謝礼： 94千円 旅費： 1千円 消耗品費： 20千円	【関連機関】 ○近畿大学産業理工学部
13	7 市民文化の創造	(1)美術に関する創造的活動の推進	⑤ 美術教育普及事業	美術講座	○専門家の指導のもと、様々な創作体験や芸術に関する知識を習得できる講座を実施し、創作活動の楽しさを実感でき、学びを深める機会を提供する。	1/30 2/6 2/13 (3回)	○前年度に引き続きカリグラフィーの講座を実施する。今年度は使用するインクをクルミから作り、そのインクを用いて実技を行う。 ※インク作りが難航することが予想された場合は、アルミ缶を使用したカリグラフィー用ペン作りに変更する。 ○カリグラフィーの歴史を学び、インク作り、練習、名刺(仮)作りまでを体験する。 ○対象者は中学生以上で募集定員12名 日曜日開催予定	○受講者はインク、ペン先、ペン軸の準備をし参加するようお願いしていたが、初めてのカリグラフィー講座ということもあり、準備した品が異なる参加者があるなど、気楽に参加してもらえるよう検討が必要。 ○時間が足りなかったため、内容と時間配分を考え直す必要がある。	○講師とより連携し、講座で使用するものを講座内で制作したり、美術館で準備するなど、受講者の負担を軽くし、応募・参加しやすい環境、内容作りに努める。 ○受講者は実際に書くといった作業を集中して行いたい様子だった。そのため、実際に書くことに時間を多く割いたり、内容を改める。	謝 礼： 42千円 旅 費： 2千円 消耗品費： 20千円	